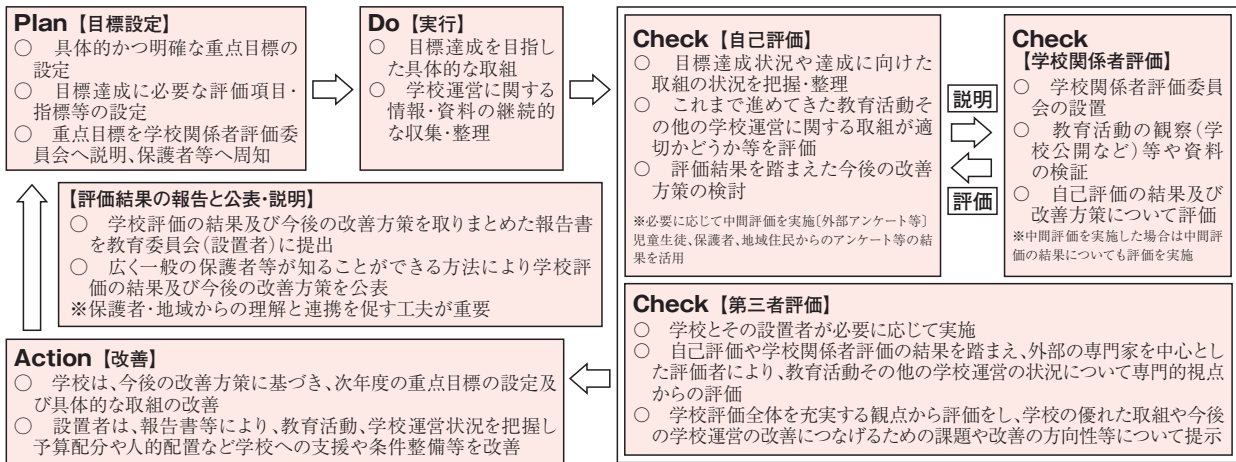


学校評価について

児童生徒がよりよい学校生活を送れるよう学校運営の改善と発展を目指す

- ◆ **学校の組織的・継続的な取組**
学校として目指すべき重点目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等を評価することにより、組織的・継続的に学校運営を改善すること。
- ◆ **説明責任と学校・家庭・地域の連携協力**
自己評価及び保護者など学校関係者による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等からの理解と参画を得ながら、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。
- ◆ **教育委員会（設置者）などによる支援・改善**
学校評価の結果を踏まえて、教育委員会（設置者）等が、学校に対する支援、改善を行うことにより、教育水準の質の保証・向上を図ること。

学校評価による改善サイクル



※小中一貫教育を実施する学校における学校評価の留意点
 ・義務教育学校：9年間を見据えた教育目標を設定するとともに、学年段階の区切りに応じた目標を設定とすること等
 ・小中一貫型小学校及び中学校：横断的に実施した評価の結果について、共同して広く周知すること等
 【具体的な評価方法等については、「学校評価ガイドライン〔平成28年改訂〕」（平成28年3月22日 文部科学省）を参照】

教員評価について

本県では、「教員一人一人の資質・能力の向上」、「学校としての組織の活性化と教育力の向上」を目的とし、平成21年度から全校種において実施し、現在は人事評価としても活用しています。教員評価のマネジメントは、学校評価のマネジメントに内包されるものであり、それらに関連させて、『人材育成・学校活性化支援システム』として整理しました。

地域住民や保護者、児童生徒から信頼される学校づくり

目的

- 教員一人一人の資質・能力の向上
- 学校全体の活性化・教育力の向上

・「自己目標」の設定

「学校としての組織目標」及び「グループ目標」と関連させ、その達成を目指すことを前提として、自らが能動的に達成しようとする努力目標を設定

・「グループ目標」の設定

「学校としての組織目標」の達成を目指して、校務分掌や学年等を単位とした「グループ目標」を設定

・「学校としての組織目標」の設定

その年度に学校全体として達成しようとする重点的な目標であり、校長が教職員の考え方を踏まえつつ、リーダーシップを発揮して設定

目標の連鎖

※人材育成・学校活性化支援システムの構築に向けて～教員評価の手引き（改訂版）～より
令和元年10月 茨城県教育委員会